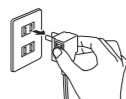


お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。



《お断わり》

外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器の警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

2 警報器を取り外してください。（P.6参照）

3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取ってください。

- 警報器表面・壁面
布に水または石けん水を湿し、よく絞ってからふき取ってください。
- 電源プラグ
乾いた布でふき取ってください。



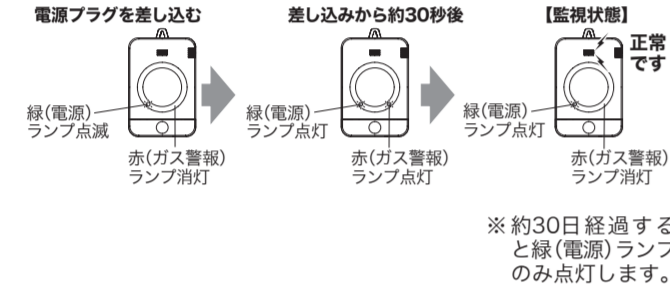
おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤（ガス警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

4 警報器を取り付けてください。（P.6参照）

5 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

- 警報器の電源が入ります。
緑（電源）ランプが点滅し、約30秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って緑（電源）ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
異常があれば「故障です販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。

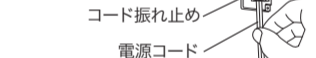


※ 約30日経過すると緑（電源）ランプのみ点灯します。

警報器の取り外し・取り付けかた

《取り外しかた》

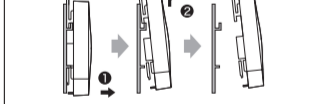
1 電源コードをコード振れ止めから取り外してください。



2 本体を持ち上げて取り外してください。



既存の取付板からの取り外しかた



《取り付けかた》

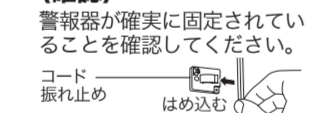
1 警報器を取付フックに引っ掛けてください。



既存の取付板への取り付けかた



2 電源コードをコード振れ止めに取り付けてください。《確認》



噴霧式殺虫剤を使用するときは

⚠ 警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。
警報器が作動しません。

電源プラグを抜かないでください。

電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに噴霧式殺虫剤を使用すると、噴霧後に再び電源プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることがあります。また、外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

⚠ 注意

ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って、十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

1.警報器をポリ袋で覆ってください

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

《準備するもの》

- ポリ袋（30cm×40cm・1枚）
ポリプロピレン製（または>PP<表示）
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- ひも（1本）
- 粘着テープ

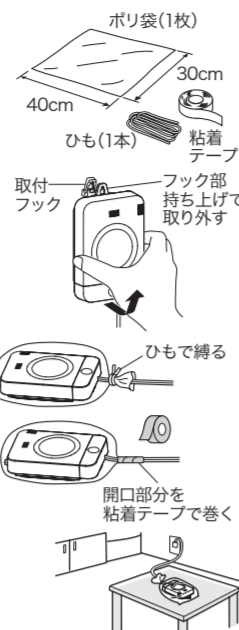
《処置のしかた》

- ①警報器を取り外してください。（P.6参照）

- ②警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。

- ③ポリ袋と電源コードの間に隙間ができないように、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。

- ④ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。



警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

《準備するもの》

- ポリ袋（30cm×40cm・1枚）
ポリプロピレン製（または>PP<表示）
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- 輪ゴム（3本）
- 粘着テープ
養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。

《処置のしかた》

- ①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード収納カバー部分を輪ゴム（3本）でしっかり止めてください。



- ②ポリ袋の端を粘着テープで壁面に貼り付けてください。

ポリ袋と壁面の間に隙間ができないように、粘着テープを貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に注意してください。
※壁面などの状況により、粘着テープでの貼り付けができない場合、①のみの処置でも一定の効果があります。



2.噴霧式殺虫剤を噴霧してください

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。
必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- 噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋と壁面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。
ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

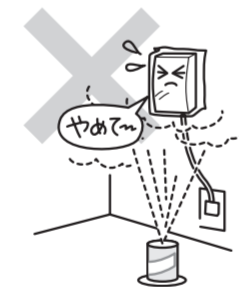
3.ポリ袋を取り外してください

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。

警報器を取り外した場合は、元の位置に取り付けてください。

おねがい

粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。



定期点検

日常の点検

日常、警報器の緑（電源）ランプが点灯していることを確認してください。

※ 緑（電源）ランプが消灯もしくは高速点滅している場合は、販売店に連絡してください。
（P.8「故障かな？と思ったら」を参照ください。）



警報機能の点検

⚠ 警告

- 点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。
警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

- ①警報停止スイッチを約1秒間押すと、「ピッ」と開始音が鳴り、緑（電源）ランプが点滅します。
- ②以下のように作動することを確認してください。



音声内容	ランプ		有電圧出力 (12V)
	緑 (電源)	赤 (ガス警報)	
「正常です」	点灯	点灯	OFF (6V)

- 過去約10日以内に警報が作動した場合のみ、全ランプが点灯、1秒消灯のあと、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）

- ③監視状態（緑（電源）ランプ点灯）に戻ります。

警報音声の点検

- ①警報停止スイッチを押すと「ピッ」と鳴り、緑（電源）ランプが点滅を開始、そのまま3秒間押し続けたください。「ビッビッ」を開始音が鳴ります。
- ②警報停止スイッチから手を離すと以下のように作動することを確認してください。



動作順	音声内容	ランプ		有電圧出力 (12V)
		緑 (電源)	赤 (ガス警報)	
1	「ウーウービッビッビッビッ ガスがもれていませんか」	点滅	点灯	OFF (6V)
2	「ビー」	点灯	消灯	OFF (6V)

※警報音を切り替えた場合は設定された音声が鳴ります。

- ③監視状態（緑（電源）ランプ点灯）に戻ります。

※警報音を切り替えた場合は設定された警報音が鳴ります。

故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
●緑（電源）ランプが消灯している。	▶電源プラグが抜けていませんか。	▶電源プラグをコンセントに差し込んでください。
●警報器が正常にもかかわらず、外部機器が鳴る。	▶電源ブレーカーが切れていませんか。	▶ブレーカーを入れてください。
	▶停電していませんか。	▶停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。
緑（電源）ランプが高速点滅している。	▶警報器の故障を知らせています。	▶販売店に連絡してください。（機器故障音声機能）
緑（電源）ランプがゆっくり点滅している。	▶警報器の有効期限切れを知らせています。警報停止スイッチを1秒間押ししてください。	▶「ピッ 有効期限が切れています販売店に連絡してください」と鳴りますので、新しい警報器に交換（有償）してください。（有効期限切れ音声機能）
ガスもれの発生ではないのに、赤ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	▶原因を調べてください。（P.5参照）	▶ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴りやまない場合は最寄りのガス会社へ連絡ください。
	▶ガス機器の異常が考えられます。	▶ガス機器の点検を受けてください。（有償）
	▶ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	▶それらの機器も点検を受けてください。
電源を入れたときや、警報停止スイッチを1秒以上押ししたときに「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」と鳴る。	▶警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れていませんか。	▶有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。（P.3参照）

廃棄について

《リース契約の警報器の廃棄》

有効期限が過ぎた警報器は、販売店にて回収いたします。

《お買上げいただいた警報器の廃棄》

お客さまにて、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがって廃棄してください。

アフターサービスについて

- この警報器は、5年間の無償保証です。
この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で、警報器が正しく作動しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。
ただし、保証書に記載されている保証の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
- 保証書に取り付け年月および販売店名の記入のないものは、無効となる場合があります。
お取り付け時にご確認ください。

- この警報器の有効期限は、お取り付け後5年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過した警報器は、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 引越しをされるときは、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 他の地区に引越されたときは、最寄りのガス事業者に連絡をとり、ガス種に適合していることを確認してください。

仕様

項目		仕様	
対 象	ガ ス	都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）	
	検 知 方 式	半導体式	
	ガ ス 警 報	作動条件	※爆発下限界濃度の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報
		表示・発報方式	赤（ガス警報）ランプ点灯 音声合成警報音
ガ ス 注 意 報	作動条件	ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報	
	表示・発報方式	赤（ガス警報）ランプ点滅 発報音無し	
外 部 出 力 信 号 *		有電圧出力 2段階有電圧2線式 （監視時 DC6V、電源 OFF 時・故障診断時 0V、 ガス警報時 DC12V）	
一般財団法人 日本ガス機器検査協会（J1A） 都市ガス用ガス警報器検査規程 認定合格品			
警 報 音 量		70dB(A)/m以上	
電 源		AC100V±10V 50/60Hz	
消 費 電 力		監視時 約0.7W、警報時 約1.3W	
付 属 機 能		通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能	
使 用 温 度 範 囲		-10℃～+50℃（結露しないこと）	
寸 法 ・ 質 量		幅85×高さ125×奥行32.5mm（突起部を除く）、 約250g	
電 源 コ ー ド		長さ 2.5m（約2.2mは警報器背面に巻取可能） 予備コンセント付プラグ （予備コンセントに接続できる電気製品は、1.490W以下）	
付 属 品		コード振れ止め×3、木ねじ（φ3.1×10mm）×3、 木ねじ（φ3.1×16mm）×1、取付フック×1、 ピン（φ1×20mm）×10、 取扱説明書（保証書付）（本書）×1、施工説明書×1	

☆ 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発範囲といい、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

★ マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。

引きひもの取付方法

引きひもは別売品（HH-01）をご使用ください。
引きひもがご要望のときは販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

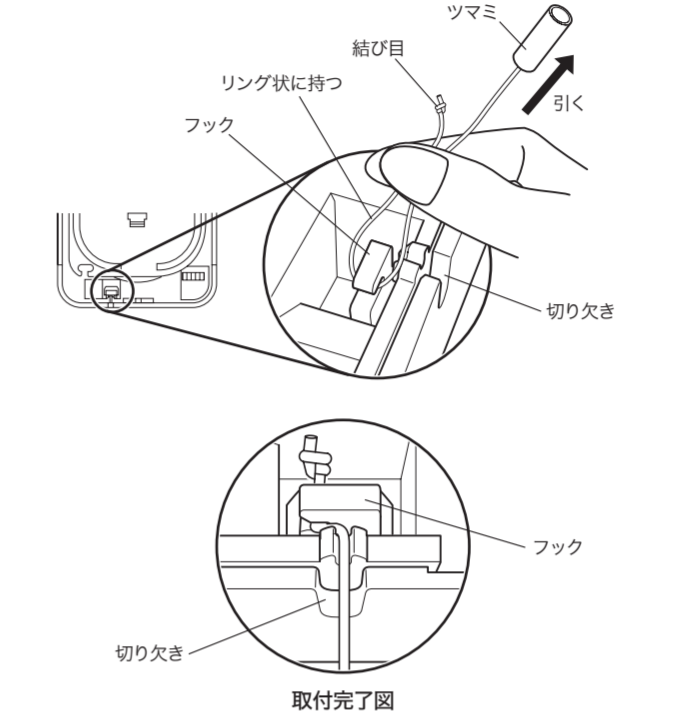
- 引きひもを取り付けるときは、警報器を取り外して作業してください。
- 警報器の取り付け・取り外しは高いところの作業となりますので、しっかりした踏み台を使用して、十分に注意して行ってください。
転倒、転落、落下の原因になります。

- ①図のように引きひものツマミが警報器の外側になるようにリング状に持ちます。

- ②引きひもを斜めに引いて、フックに引っ掛けてください。

- ③ツマミを引き、結び目をフックに固定します。

- ④引きひもを本体の切り欠きに通してください。



※引きひもを取り付けた後は、数回引きひもを引き、正常に操作できることを必ず確認してください。